

＝執筆者紹介＝

- 鈴木勇一郎** 立教学院史資料センター学術調査員・センター員  
02年、青山学院大学大学院文学研究科史学専攻博士後期課程修了  
博士（歴史学）＜青山学院大学＞  
単著『近代日本の大都市形成』（岩田書院 04年）  
『おみやげと鉄道 名物で語る日本近代史』（講談社 13年）  
共編著『近代都市の装置と統治』（日本経済評論社 13年）など
- 中根美知代** 立教大学兼任講師・日本大学理工学研究科研究員  
91年 東京工業大学大学院理工学研究科博士後期課程修了  
学術博士（科学史）＜東京工業大学＞  
著書『 $\varepsilon$ - $\delta$ 論法とその形成』（共立出版 2010年）  
共著『科学の真理は永遠に不変なのだろうか』（ベレ出版 2009年）  
論文「作用一角変数の形成におけるC.V.L.Charlierの寄与」『科学史研究』  
(261号、2012年)  
"Did Weierstrass's differential calculus have a limit avoiding  
character?: His definition of limit in  $\varepsilon$ - $\delta$  style", BSHM Bulletin:  
Journal of the British Society for the History of Mathematics,  
Vol.28, 2013 など
- 宮本正明** 立教学院史資料センター学術調査員・センター員  
03年 早稲田大学大学院文学研究科博士後期課程単位取得退学  
論文「朝鮮の『解放』と日本」（趙景達編『植民地朝鮮—その現実と解  
放の道』東京堂出版 2011年）  
「朝鮮における『文化政治』と『協力』体制」（和田春樹ほか編  
『岩波講座・東アジア近現代通史』第4巻 岩波書店 2011年）ほか